

科目責任者 土屋 睦廣

## ■教育目的

過去を知ることは現在を理解すること、未来を考えることに通じる。今日、人類の運命を左右するほど強大な力を持つに至った科学も、当然のことながら、人類の歴史のなかで社会的、思想的な制約を受けながら成立したものである。本授業では、ヨーロッパの科学と医学の歴史を、古代ギリシアにおけるその始まりから、17世紀における近代科学の成立まで、いくつかのテーマに沿って解説する。科学の歴史的経緯を理解することは、今日の科学技術がかかえる様々な問題を考察する上でも、不可欠なことである。

## ■学習到達目標

1. 古代ギリシア科学の特質と科学史上の意義を理解する。
2. 近代科学が成立するに至る歴史的経緯を、社会的・思想的背景とともにを理解する。
3. 近代科学の特質と歴史的・社会的意義を理解する。
4. 今日の科学と医学のあり方を、相対的・批判的な視点から考察することができるようになる。

## ■準備学習（予習・復習）

予習：授業で取り上げるテーマについて、本やインターネットで予備知識を得る。

復習：授業で紹介した参考書等で、さらに知識と理解を深める。

## ■授業内容

| No.   | 項目                  | 授業内容  | SBOコード |
|-------|---------------------|---|--------|
| 1     | 序論                  | ・歴史学とは何か。<br>・歴史のなかの科学。   |        |
| 2～3   | 古代ギリシアにおける科学の始まり    | ・科学の始まり。ミレトス派とアナクシマンドロスの宇宙論。<br>・ピュタゴラス派の数学的神秘主義。                 |        |
| 4～5   | 古代科学の発展             | ・天文学の発展。数学的精密化と哲学的基礎付け。<br>・応用技術の発展。アレクサンドリアの機械学。                 |        |
| 6～8   | 古代ギリシアにおける医学の始まりと展開 | ・ヒッポクラテスと医学の始まり。<br>・医神アスクレピオスの信仰治療。<br>・ガレノスによる古代医学の集大成。四体液説の発展。 |        |
| 9～11  | 疫病の歴史               | ・古代ギリシアの疫病。<br>・ローマ帝国と疫病。<br>・中世の黒死病。<br>・新型インフルエンザのパンデミック。       |        |
| 12    | 古代科学の衰退と継承          | ・古代科学の衰退とシリア・アラビアにおける継承。<br>・西欧への還流。<br>・科学史におけるルネサンス時代の意義。       |        |
| 13～14 | 近代科学の成立             | ・科学革命の時代。近代天文学と近代力学の成立。<br>・科学革命の思想的背景。ルネサンスのオカルティズム。             |        |
| 15    | 現代と科学               | ・科学革命とパラダイム論。<br>・現代社会の課題。<br>・科学至上主義の克服とこれからの科学。                 |        |

## ■授業分担者

No.1～15 土屋 睦廣

## ■成績評価方法

期末試験の点数（80％）に平常点（20％）を加味する。

## ■教科書

なし

## ■参考書

授業中に適宜紹介する。